

# 竜巻・雷・急な大雨など自然災害発生時の対応マニュアル

吉川市立美南小学校

## 事前

○児童に竜巻等突風、雷、急な大雨等の対応について指導する。

「積乱雲が近づく兆し」①真っ黒い雲、急に暗く ②雷鳴、雷光 ③冷たい風 ④大粒の雨、ひょう  
積乱雲は急に発達するので、活動中も随時空の様子に注意する。

○「特別警報」の発令 ⇨ 尋常でない大雨、直ちに避難するなど身を守る。

○気象情報 ⇨ 気象庁ナウキャスト、国土交通省 X レイン、東京電力雷情報、ウェザーニュース  
「雷を伴う・・・」「大気の状態が不安定・・・」

## 竜巻発生

### 教職員の動き

- 児童の安全確保  
第一動作の指示
- ①『窓を閉め、カーテンを引きなさい。』
- ②『机を真ん中に固めなさい。』
- ③『防災頭巾を頭にかぶり、机の下にもぐりなさい。』
- ④『机の脚をしっかりと両手で持ちなさい。』
- 不安を解消  
『大丈夫。落ち着いて。先生の指示通りしましょう。』
- 出入り口の確保
- 配慮を要する児童への言葉かけ
- 二次災害防止  
(電気、ガス)
- 緊急放送をしっかりと聞かせる。
- 担当学年、近い教室へ急行し、指示を出す。

### 竜巻発生時、児童の動き

- 1 授業中
  - ① 窓を閉め、カーテンを引く
  - ② 窓ガラスからできるだけ離れる。
  - ③ 机を中央部に寄せ、防災頭巾で頭を保護し、机の下へ避難する。
  - ④ 机の脚を両手でしっかりと押さえる。
- 2 休み時間
  - ・ 校庭→速やかに教室等屋内に避難する。
  - ・ 教室→授業中と同様、机の下へ避難する。
  - ・ 廊下等→近くの教室へ移動
3. 体育館で活動中
  - ① 頭部を保護する。
  - ② 窓ガラスから離れ、中央で身を伏せる。  
両腕等で頭と首を守る。
4. 家庭科室、理科室、図工室での実験、実習中
  - ① 火を消し、機械用具の電源を切るなど実習を中止する。
  - ② 熱湯、薬品の転倒防止をする。
  - ③ 強固な机の下にもぐり、両腕で頭と首を守る。
5. 登下校時
  - ① 近くの頑丈な建物の物陰に入って身を小さくする。
  - ② カバンや持ち物で頭部を保護する。
  - ③ 車庫、物置、プレハブに避難しない。
  - ④ 橋や陸橋の下に行かない。
  - ⑤ 電柱、樹木の倒壊に注意する。

### 職員室の動き

- すぐに緊急放送で、第一動作の指示を出す。
- あわてず、冷静に放送を聞くように指示する。
- 避難状況を確認
- テレビ、ラジオ、インターネット等で情報を収集する。
- 児童名簿、緊急持ち出し用具を携行する。
- おさまったら、放送を入れ、不安を解消する。
- 建物等の被害状況を確認、関係機関への連絡。